

あいち障害者センターNEWS(号外)

2024年1月
(講師派遣・研修版)

発行：NPO あいち障害者センター

名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル TEL052-682-7911 FAX052-682-7916

メール asc732@spa.nifty.com (講師派遣・研修用) ホームページ <http://www.npo-asc.jp/>

たのしく学び、ともに育ちあう 2024年をご一緒に



この3年間は新型コロナの流行により、「センター講座」等のセンター事業も縮小せざるをえなかっただけでなく、ともに学び交流する機会が減り、学びの輪と元気を広げにくかったことがとても残念でした。

そんな中、昨年末には「社会保障の在り方」を見直す政府の方針が出され、これから先どうなるのかと不安を感じておられる方もいらっしゃるかと思います。そんな時こそ、しっかりと学び交流して、自分たちにできることを考え合いたいものです。私も去年は北海道から沖縄までお声を掛けていただき、子どもの思いを理解する手がかりを届けてきましたが、参加者の方の感想や質問にどれだけ励まされたかわかりません。

色々な逆風はあっても、国連の「障害者権利条約総合所見」の学びも広がり、障害児者の権利保障への取り組みも前進の条件ができてきています。そのことを力に、障害児者・家族・支援者が手を繋ぎ合って運動するための豊かな学びを広げていく企画を進めていきます。学びと交流の輪にぜひともご参加ください。

あいち障害者センター理事長 近藤直子

【雑感】管理人（事務局）は大騒ぎ

元旦に能登半島を襲った地震は、名古屋にも大きな揺れをもたらした。

集合住宅最上階5階の我が家は、かなり大きく揺れたように感じる。

揺れが治まり、管理人は外へ出て住宅エレベーターが動いていることを確認し、エレベーターかごを5階へ呼び寄せた。

地震時にエレベーターは使用してはいけないと言われるが、相方はエレベーターでないと地上へ降りられない。

幸いその後に大きな揺れはなく、ホッと安堵したけれども、北陸方面は大変なこととなっていた。

NHK テレビから流れる、「逃げて」「離れて」の叫びが続く。

「テレビを見ていないで急いで逃げて」

女性アナの鬼気迫る絶叫に、のちに賛否はあったようだが、東日本大震災や阪神・淡路大震災を少しでも記憶にとどめている人にとっては、大事な呼びかけであったと思う。

いつ発生してもおかしくないと言われている南海トラフ（東海）地震。

その時、管理人さんちは何ができるだろうか。

車いすユーザーの相方は、エレベーターが停止すれば、地上へ降りることができない。

地上へ降りたとしても、道路が大きくゆがんでいれば、車いすは走行できない。

避難所までたどり着いたとしても、普段のバリアに加えて地震によるバリアがさらに増え、避難所に入ることもできない。

避難所に入れたとしても、行き届かない設備の中で、身体を横たわせることさえできない。

できない、できない、できないづくめが想像できる。

集合住宅の建物に損傷がなければ、自宅に待機することが一番安全なのではないかと思うことがある。

「ここに障害者がいます」と、ベランダに垂れ幕をつけ、存在を示すことしかできないと思うことがある。

それでも、住宅損壊、川をさかのぼる濁流、火災、何が起こるかわからない。

いえるのは、それでも私たちは生き延びなければならない。命を守らなければならない。

北陸地震被災地の迅速な救助と、復旧と、皆様の健康を、祈るばかりです。

管理人（事務局）上田

あいち障害者センターの事業紹介

学び、交流しましょう！



子どものこと、仲間のこと、「ああ、みんな同じなんだ」「ああ、そう考えればいいんだ」「あるある～」を、家族も、支援者も、関わるみんなで思いを共有し、今のこと、明日のこと、ホッとできる時間を過ごしましょう。どなたでも参加できます。

- センター2階 研修スペース（名古屋市熱田区）
- ▼会場の定員 12名程度（申し込み順）
- 各回参加費 3000円～（各回内容により異なります）
- ▲開催方法 ①会場のみ、②オンライン（Zoom）併用（申し訳ありませんが、オンラインの方も同額でお願いします。）
※センター賛助会員（団体・個人）割引あり

これまでのミニ講座

- *子ども・なかまの見方と記録・その勘どころ（竹沢氏）
- *コロナ禍で三兄弟の親は黙ってられない（浅野氏）
- *気になる子の秘められた魅力（近藤氏）
- *「問題行動」からホントの願いを（竹沢氏）

企画準備中！

こんな曜日に、こんな時間に、こんな話を聞いてみたい…

※日時も含め、ご要望にあわせた講座を企画します。

講座に参加して

- ★私の孫は自閉症です。研修を受けるたびに孫のことを頭に置いて勉強している。
“人間を深くとらえる” そうだったのかとわかるとおもしろい。聞けば聞くほど人間相手のお仕事はむずかしい。障害への理解と深さを身につけていきたい。
- ★これまでかかわった仲間たちの「あるある」を思い出しながら、手探りでやってきたことが間違っただけではなかったことに安堵し、また頑張ろうと思う。



竹沢清氏

2024年2月25日（日）

13:00-16:00

「問題行動」から、
願いを探りあてる実践と記録

近藤直子氏

2024年3月3日（日）

13:00-16:00

療育ってなに？

療育と保育は何がちがうの？





2024年1月 あいち障害者 センター講座

財務省は11月20日、財政審財政制度等分科会を開催して、「令和6年度予算の編成等に関する建議」をとりまとめ、公表しました。一方、2024年度の障害福祉サービス等報酬改定にむけての検討チームでの検討も大詰めです。報酬改定に加えて、障害福祉計画・障害児福祉計画の改定時期と連動していることもあり、動向を見るだけでは報酬改定が大幅に行われる可能性は少ないだけでなく、事業所運営そのものも困難になる事が危惧されます。国の動向と運動をどう進めるべきか、考えあいたいと思います。

2024年度障害福祉サービス等 報酬改定を考える

2024年 **1月20日(土)**

1部 10:00~12:00 子どもの支援

子育てや療育を国は、どのように考えているのか。

近藤直子 NPO あいち障害者センター理事長

日本福祉大学名誉教授

全国発達支援通園事業連絡協議会会長

2部 13:30~16:00 障害者の支援

国の全体的動向と報酬改定そして運動の課題

峰島 厚 NPO 日本障害者センター理事長

立命館大学名誉教授

参加費：**3500円**

レジメと資料を紙版で希望の方は別途1500円+送料

●
障害者・賛助会員・協催
団体関係者は

2500円

レジメと資料を紙版は別途1500円+送料

●
会場：あいち障害者センター2F研修室と
オンラインの併用開催

●
会場参加は**20名**
(定員になり次第締め切り)

■
協賛
きょうされん愛知支部
全障研愛知支部
愛障協



「学び」を職員みなさんの共有の財産にするために、 あなたの事業所に伺う「講師派遣」事業を行っています。

障害のある人が、住みなれた地域で暮らし続けられるための制度改正が進められてきています。日本が2014年に批准した国連・障害者権利条約は、障害者の「固有の尊厳、個人の自律（自ら選択する自由を含む）及び個人の自立を尊重すること」、「差別されないこと」、「社会に完全かつ効果的に参加し、及び社会に受け入れられること」等（第三条）を求めています。しかし、障害のある人や家族への負担は増すばかりです。

こうした中で、障害のある人や家族とともに一歩でも前に歩める、障害者児の日中活動や暮らしの場における支援の在り方や職員の力量のアップが求められています。

「学び」を職員全員の共有の財産にするために、あなたの事業所に伺います。

※講師派遣（講演）は、ご希望の内容をふまえ、講演内容を相談いたします。
※センターにご協力いただいている多彩な方々が、成年後見、親の立場、当事者として、得意分野を語ります。



障害のある人や子ども、
そして家族の気持ちや思いが
わかると、毎日の取り組みが
少し楽になる。

うんとたのしくなること
だってある。



講義や読書が苦手な人も
楽しく学べる講座。

リピーターも多いけれど
初心者大歓迎！

センター事業の利用と賛助会員加入のお誘い

皆様には、私たちの取り組みに賛同をいただき、センター事業活動大にむけてご協力をお願いいたします。応援募金にもご協力ください。

団体賛助（法人・事業所）年間 10000 円 / 個人賛助 年間 2000 円

あいち障害者センターの事業紹介



【出前講座】近藤先生のこどもの発達基礎講座

(1回コース・2回コース・3回コース)

近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」をテキストに、

1. 発達とは何か？ 2. 乳児期の発達と「1歳半の節」
3. 2歳から3歳の自我の発達 4. 4歳、5歳のこころの発達
5. 学童期の発達 などをテーマとし、子どもらしいかわいさを発見し、子どもを応援できる手がかりとなるような発達の「学び」を願っています。



いくつになっても発達はある。発達の節目節目を見逃さないで。

発達保障の基礎、初任者研修におすすめ！

※テキストとして近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」の購入が必要。

【出前講座】近藤先生の気になる子の秘められた魅力

近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」をテキストに、

「保育室にいてくれない」「暴言・暴力が目立つ」偏食がきつい
保育の場でよくあげられる、気になる行動の理由にせまったら、
みんなと違って気になるところを魅力に変える手がかりがみえてくる。



保育者のみなさんへ、そして園長さんへのエールです。

※テキストとして近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」の購入が必要。

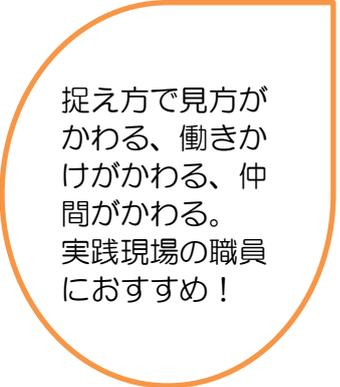


【出前講座】竹沢先生の障害のある仲間・子どものとらえ方講座

発達・発達保障について、現場での実践経験を踏まえた豊富な事例をもとに

1. 子ども・障害のある仲間のとらえ方と理解・働きかけ
2. 読み手に伝わる記録の書き方

などをテーマとし、講座を通して日々の支援の振り返り、
確信、支援のヒントなどをつかみ取っていただきたいと思います。
放課後等デイサービス、放課後児童クラブの指導員さんだけでなく、
成年期の仲間に関わる職員さんにも聞いてほしい。



捉え方で見方が
かわる、働きか
けがかわる、仲
間がかわる。
実践現場の職員
におすすめ！

※出前講座は、障害児から者まで、対象となる年齢層に合わせて講座内容をアレンジいたします。